

「新現役交流会 2.0 ～東北 3 県と新現役がつながる“芯”プロジェクト～」 が令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」と して内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました

令和2年5月28日

亀有信用金庫

亀有信用金庫は、「新現役交流会 2.0 ～東北 3 県と新現役がつながる“芯”プロジェクト～」が令和元年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に選定され、昨年度に続き 3 年連続、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されましたのでお知らせします。

■「新現役」とは

大手・中堅企業を退職したOBや専門資格や知識を持ち、自身の経験やスキルを中小企業支援のために活用したいという意欲に溢れたシニア人材の方々です。

■「新現役交流会 2.0」とは

東日本大震災以降、被災 3 県（岩手、宮城、福島）では、中小企業における多様な経営課題が人口減少等を背景に深刻化しております。

そのような中小企業の課題解決支援に取り組むため、官民の連携・協力のもと、被災 3 県の地域金融機関が、これまで主として関東圏の地域金融機関が取り組んできた、新現役と中小企業のマッチングの場である「新現役交流会」を発展させ、首都圏在住の新現役と被災 3 県の中小企業を対面による面談だけではなく、Web での面談も活用し、マッチングを図る取組「新現役交流会 2.0」を開催しました。

■当金庫取り組みについて

当金庫は、被災 3 県での中小企業における経営課題解決の取組を通じて地域経済活性化の一助とするべく、「新現役交流会 2.0」の開催に伴い、当金庫が協力機関となり、これまで 12 回の新現役交流会を開催して培った知見やノウハウを参加金融機関に提供し、開催までのご支援をさせていただきました。

その結果、「新現役交流会 2.0」では、首都圏在住の新現役 100 名、被災 3 県に所在する 25 金融機関及びその取引先が参加し、多数のマッチングを成立させ、中小企業の経営課題の解決を図りました。

こうした取組を評価していただき、「新現役交流会 2.0 ～東北 3 県と新現役がつながる“芯”プロジェクト～」が令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として、昨年度に続き 3 年連続で内閣府特命担当大臣表彰を受賞いたしました。

今後も当金庫は地域密着型の金融機関として「中小企業、家庭並びに地域社会の繁栄に奉仕する」基本方針と共に、地方創生に資する取組を通じて地域社会の活性化に貢献してまいります。



本件を含めた特徴的な取組事例については、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部ホームページにて公表されておりますので、ご参照ください。

➤ 令和元年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/kinyu/jirei.html>

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

亀有信用金庫 事業支援部

TEL 03-3603-1746